

熊毛の社会教育

平成二十八年二月発行
熊毛地区社会教育振興会

〈熊毛地区社会教育主要事業実績〉

月	日	曜	事業名	会場	参加者数
5	23	土	地区子ども会指導者・育成者研修会 地区子ども会安全教育研修会	中種子町立中央公民館	57人
6	12	金	地区社会教育指導者研修会(PTA・女性・高齢者団体)	屋久島離島開発総合センター	57人
6	20	土	地区社会教育指導者研修会(青年団体)~21日(日)	あっぱ〜らんど	29人
7	4	土	中央ブロック子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会(~5日)	中種子町立中央公民館 他	55人
9	4	金	地区文化財保護審議会委員等研修会	南種子町立中央公民館	31人
9	10	木	地区人権教育ブロック別指導者研修会	ホテルニュー種子島	138人
			地区社会教育委員等研修会		34人
			地区自治公民館経営研究会		39人
11	28	土	県PTA活動研究委嘱公開	西之表市立下西小学校	約400人

熊毛地区社会教育振興会では、地域、家庭、学校、行政、関係機関等の連携が更に深まり、熊毛地区の社会教育がますます充実・発展することを願ってリーフレット「熊毛の社会教育」を作成しています。

一・二ページには、地区主要行事を、三〜六ページには、一市三町の特色ある事業等を掲載してあります。

ぜひ御一読いただき、本地区の社会教育のさらなる充実・発展に御理解と御協力をお願いいたします。

子ども会指導者・育成者研修会 子ども会安全教育研修会

平成二十七年五月二十三日(土)
中種子町立中央公民館五十七人

種子島地区の子ども会リーダーと指導者・育成者が集い、「子どもたちがつくる子ども会活動」をテーマに研修を行いました。



指導者・育成者研修会では、子どもたちが主体的に活動するための指導者・育成者の役割や活動の方法等について研修しました。子ども会リーダーによる安全教育研修会では、KYTの演習を通して、活動中の危険を予知し、回避するトレーニングを行いました。

また、合間で中種子消防分遣所員の指導により、正しい応急処置の方法を学んだり、よいらいきスポーツクラブのインストラクターから楽しいレクリエーションのプログラムを指導していただきました。

子ども会活動は、異年齢集団による話し合い活動や体験活動等を通して、人と関わることの喜びを味わったり、郷土のよさを再発見できたりするまたとない機会です。今後も子ども



たちがつくる子ども会活動の推進をよろしく願います。

社会教育指導者研修会

PTA・女性団体・高齢者団体

平成二十七年六月十二日(金)
屋久島離島開発総合センター(五十七人)

屋久島地区のPTA及び女性団体・高齢者団体が合同で研修を行いました。

各団体の運営や活動の在り方についての講義やレクリエーションの実技、「生涯学習の町づくり」についての協議等を通して、各団体の活動の活性化や団体間の連携について積極的な意見交換を行いました。



参加した皆さんが学習したことを実践し、それぞれの立場で広めてくださることを期待します。

青年団体

平成二十七年六月二十日(土)・二十一日(日)
あっぱ〜らんど(二十九人)

種子島地区三市町の青年団が一堂に会して、一泊二日の宿泊研修を行いました。

人権尊重の理念に基づいた一人一人を大切にしている活動の在り方やアイデア創出の技法であるブレインライティングを用いて、魅力ある組織づくり等について語り合いました。



また、「カヌー・いかだ体験」やバー

ベキューを囲んでの情報交換会は、若者らしく深刺とした楽しい交流の場になりました。

全国的に青年団の衰退が課題となっていますが、地区内の青年団は、地域おこしや仲間づくりなどに懸命に取り組んでいます。青年団の皆さんにエールを送ると同時に、さらなる活躍を期待したいと思います。

中央ブロック子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会

平成二十七年七月四日(土)・五日(日)
中種子町立中央公民館 他(五十五人)

中種子町を主会場に鹿児島地区・鹿児島市の会員との交流大会を開催しました。

この大会は、地域における自分たちの役割について考え、地域社会でリーダーとして活躍する中・高校生を育成することを目的にしています。



当日はあいにくの悪天候で、ヨットやカヤック体験は中止になりましたが、宇宙センター見学や種子島の歴史・文化の体験学習等を通して、種子島の魅力を体感しました。

また、各団体の活動発表や「しゃべり場」では、若者らしく活気のある意見交換を行い、他の団体の活動から多くのことを学ぶことができました。



熊毛地区の実行委員十人が、三回の

実行委員会を経て自分たちの力で企画・運営をした大会でした。本番では計画通りに進めることができなかったり、まとめることができなかったりなどの課題もありました。それらの課題を話し合い、助け合いながら克服するなど、成長を感じる大会にすることができました。



文化財保護審議会委員等研修会

平成二十七年九月四日(金)
南種子町立中央公民館(三十一人)
「文化財保護行政」について、県文化財課担当者の講話の後、西之表市の委員から「作家 家坂洋子資料の紹介」について事例発表がありました。

家坂氏は、種子島・屋久島を題材にした作品をライフワークにした作家で、その書籍と膨大な収集資料は郷土史の貴重な資料となり、現在その整理に当たっていることの報告がありました。

また、現地研修視察では、昨年三月にオープンした広田遺跡ミュージアムを見学しました。国重要文化財の出土品や集団墓地、埋葬の様子などの説明を受け、独自の豊かな文化を形成していた様子について研修しました。

今後の各市町文化財保護行政の推進・充実と文化財保護思想の普及・啓発に生かしていただきたいと思ひます。



**人権教育ブロック別指導者研修会
社会教育委員等研究会
自治公民館経営研究会**

平成二十七年九月十日(木)
ホテルニュー種子島(百三十八人)

部落解放同盟鹿児島県連合会執行委員長の山口武文氏を講師に迎え、「生きる」を演題に御講演をいただきました。



差別や偏見のない明るい社会づくりのためには、差別の中で生きてきた人々が、最善を尽くして生きようとする姿に尊敬の念をもって学ぶことが大切であり、大人が正しい知識と人権感覚を身に付け、子どもたちに正しく伝えることの大切さを再認識する良い機会となりました。

人権教育はあらゆる教育の基本です。社会教育においても、人権尊重の理念を大切にした活動をお願いいたします。

社会教育委員等研修会
「社会教育の推進と社会教育委員の役割」をテーマに、屋久島町社会教育委員会議長が、「さわやかあいさつ日本一運動」への取組などについて事例発表を行いました。研究協議では地域ぐるみでの青少年育成活動の在り方などについて熱心な意見交換が行われました。

自治公民館経営研究会
「豊かな地域づくりを担う公民館活動の在り方」をテーマに、西之表市伊関地区公民館長が「伊関の風」と題して、紀徳祭の取組や区



民の学校教育への協力、地域の絆づくり等の取組について発表を行いました。
県PTA活動研究委嘱公開

平成二十七年十一月二十八日(土)
西之表市立下西小学校(約四百人)

下西小学校を会場に多くのPTA・地域・学校関係者を迎え、盛大に開催されました。



下西小学校PTA研究テーマ「地域の特性を活かし、心豊かで、たくましく生き抜く下西っ子の育成を目指すPTA活動」について、今しかできないことを「」についての研究発表をもとに、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の在り方等について協議しました。

「下西小学校の五つの言葉と五つの心」と関連させた一家庭一家訓や生活習慣・学習習慣・読書習慣の育成を目指した「下西スリーアップ週間」の取組についてユニークな創作劇で紹介があり、会場には笑いが溢れると同時に、家庭でどのように取り組めばよいかを理解することができました。

また、千葉大学講師の石村博彦氏により「算数教材、観点を変えてみる」の演題で御講演をいただき、視点を变えて物事を見つめてみるこの大切さ



受賞おめでとうございます

平成二十七年年度各種表彰 ※敬称略

- ◆県子ども会育成連絡協議会表彰
 - 小園 正喜 (南種子町)
 - 恵比須子ども会育成会 (屋久島町)
- ◆優良少年少女及び優良地域高校生クラブ等表彰
 - 種子島レオクラブ (西之表市)
- ◆県文化財功労者表彰
 - 横山 政義 (中種子町)
- ◆優良読書グループ表彰
 - 人形劇団ゆびり (西之表市)
- ◆熊毛地区社会教育関係優良団体・個人表彰
 - 【優良団体】
 - 種子島の語り部「ぢろ(囲炉裏)の会」 (西之表市)
 - なかねおはなしパレット (中種子町)
 - しまこい南種子 (南種子町)
 - 高校生クラブぼんだま (屋久島町)
 - 【優良個人】
 - 中野 幸太郎 (西之表市)
 - 石田尾 壽 (屋久島町)
- ◆熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰
 - 東町・池田子ども会 (西之表市)
 - 星原校区子ども会育成会 (中種子町)
 - 下中地区公民館青少年育成部 (南種子町)

【編集・発行】
熊毛地区社会教育振興会事務局
住所 西之表市西之表七五九〇番地
熊毛教育事務所内
電話 (〇九九七) 二二〇五三五
FAX (〇九九七) 二二〇五二二

西之表市

まなびの輪
にしのおもて

わくわくチャレンジ2015
3泊4日の旅！



万滝で集合写真

八月九日から十二日にかけて、「わくわくチャレンジ2015」を実施しました。子どもゆめ基金を活用した事業で、昨年度は台風のため中止となり、満を持しての事業実施となりました。西之表市内の小学四年生から中学三年生を対象に募集を行い、小学生二十八人、中学生二人の計三十人が参加しました。「チャレンジ」をテーマにした三泊四日の宿泊学習を鹿屋市と鹿児島市を舞台に実施しました。

三日目は、施設見学がメインの活動になりました。海上自衛隊鹿屋航空基地を見学し、県アジア・太平洋農村研修センターにて異文化体験を実施しました。その後、鹿児島市内まで移動し、鹿児島市立少年自然の家に宿泊しました。

最終日は、五班に分かれて鹿児島中央駅付近を自主探索し、明治維新を中心とした歴史を学びました。その後、子どもたちが楽しみにしていたセイカアイスクリーム工場を見学し、アイスクリームやお菓子の製造過程を細かく学ぶことができました。お土産にアイスクリームをもらい、大喜びの見学となりました。

親元を離れて三泊四日の集団生活を体験した子どもたちは、協調性と自主性を学び、体力的にも精神的にもきつい活動をやり遂げ、達成感を感じることができたのではないだろうか。西之表市を出発したときよりも一段とたくましくなった子どもたちの顔つきを見て、充実した三泊四日の旅になったと感じました。



わくわくチャレンジ2015

中1ギャップ解消事業
「ともだち大作戦！」開催

八月十七日と十八日にあっばくらんどで「ともだち大作戦！」を開催しました。「中1ギャップ解消」を目的として、大字の小学六年生を対象に募集をかけ、九人が参加しました。異年齢集団活動も目的の一つとするため、ふるさとまなび隊員も加わり、計二十五人が一泊二日の宿泊を伴う活動を実施しました。

初日の友だちになろうゲームやチームの旗づくり、スポーツ大会を通して初対面の子ともたちもすぐに緊張が解け、仲良くなることができました。その後の夕食づくりや花火等のレクリエーションでは、チームでの活動を意識的に取り入れ、どのチームも高学年児童のリードにより協力して活動を行うことができました。

二日目は、六年生だけで種子島中学校の見学を行いました。校長先生から歓迎の言葉をいただき、教頭先生には丁寧な案内を案内しました。

二日目は、六年生だけで種子島中学校の見学を行いました。校長先生から歓迎の言葉をいただき、教頭先生には丁寧な案内を案内しました。



チーム旗づくりの様子



中学校見学の様子

ていただきました。中学生になることへの不安が少しでも解消されたように感じました。今回の活動に参加した子どもたちは、それぞれに役割を全うし、多くの友だちと積極的に交流し、楽しく過ごせた様子でした。この活動でできた仲間がいることを心強く感じ、希望をもって中学校に入学してほしいと思います。

西之表市連合青年団の活動

西之表市連合青年団は、現在六十四人（男性三十人・女性三十四人）で活動しています。

十二月二十四日（木）、クリスマスライブに市連合青年団の一大イベントが行われました。その名も『君の家にもサンタクロース！大作戦』有志二十八人が集まり、市内の子ともたちに夢とプレゼントを届けました。また、同日には若宮保育園・国上みさき保育園を訪問し、園児たちにプレゼントを届けました。子どもたちの歓声と笑い声が響き渡り、充実した活動となりました。

市連合青年団は県内一の団員数を生かして、西之表市を盛り上げていくため、新たな活動に取り組んでいきたいと意気込んでいます。



君の家にもサンタクロース！大作戦

中種子町



風立

のまち
なかたね

自治公民館連絡協議会
女性部

平成二十七年十二月五日に種子島中央体育館に於いて、自公連女性部のスポーツ交流会（ミニバレー）が行われました。今年で十三回目を迎え、二十チーム百三十八人が参加しました。

女性部では、「力を合わせてできることから行動し、豊かな地域づくり気軽に参加できる組織」を目指して、相互交流を図っています。日頃の仕事や家事、子育ての疲れを忘れ、和気あいあいとスポーツを楽しみました。

時々笑い声が聞こえたり、熱戦が繰り広げられたりした中、一人のケガもなく大会を終了することができました。結果は優勝が畠田チーム、二位が竹屋野Cチーム、三位が竹屋野Bチームでした。



ミニバレーボール大会の様子

「中種子町青少年
さつま交流事業」

中種子町とさつま町の両町においてお互いの児童生徒が毎年交互に訪問し合い交流を深める「中種子町青少年さつま交流事業」を実施しており、今年で九回目を迎えることとなりました。

これは、昭和二十年四月から九月までの五か月間、小学生を中心とする子どもたちを戦禍から救うために、さつま町（旧薩摩町、旧鶴田町、旧宮之城町）に中種子町が疎開先としてお世話になってきたことから両町交流の機運が高まり、平成十八年度に友好交流協定を締結し、交流事業が始まりました。本年度はさつま町から四十二人の児童生徒が来町し、八月四日から六日の二泊三日で交流を深めました。

一日目の午後は、熊野で地引き網体験を行い、ずぶ濡れになりながら楽しんでいました。夜の活動ではペットボトルロケットを作りました。みんな悪戦苦闘しながら作



地引き網体験の様子

がらんとか作

あげ、明日を楽しみに就寝しました。二日目は、宇宙センターで発射体験です。発射するたびに歓声があがっていました。その後、宇宙科学展示館を見学し、熊野レクリエーション村に移動しました。午後は「ヨット体験」「カヤック体験」「マングローブ散策」の三種の体験活動をローテーションで実施しました。「ヨット体験」では実際に操船をしたり、沖の海に飛び込んだりして楽しんでいました。「カヤック体験」ではオールの持ち方や転覆したときの対処法などを学び、最初は戸惑いながらも時間が経つとみんな上達し、楽しんでいました。「マングローブ散策」では、自生地北限とされる種子島のマングローブ林を散策し、多様な生態系を肌で感じながら観察しました。夜の活動では、実際疎開を経験された方をお迎えし、当時の貴重な体験談を語っていただきました。みんな真剣に聞き入っていました。



ペットボトルロケット発射体験の様子

三日目は、「ウミガメ放流体験」を実施し、最初にウミガメ保護監視員から今年の産卵状況やウミガメの生態について学習しました。その後、砂浜に移動してウミガメの赤ちゃんを手にとって観察し、一斉に放流をしました。この体験や交流を通して、次代を担

「人権同和教育研修会」

う両町の青少年の友好の輪を広げ、たくましく思いやりのある人間に成長してほしいと思います。

鹿児島県人権週間（十二月四日から十日）に先立ち、十一月二十六日に、町立中央公民館大ホールで「中種子町人権同和教育研修会」を開催しました。前田隆幸氏（鹿児島県総務部県民生活局 人権同和对策課研修専門員）を講師に招き、「誰もが幸せに生きるために」の演題で御講演いただきました。身近にある人権同和问题について、ビデオ上映や人権啓発パンフレットを参考に、豊富な経験を交えながらの内容でした。

町職員や各種団体代表など約百人の参加者からは、「とても分かりやすく、今後の生活で実践したい」「改めて人権について深く考えさせられた」といった感想が寄せられました。

人権同和问题は、今なお様々な問題が山積みですが、この研修会を通して、一人一人の人権が守られる社会を実現していくための知識や理解を深めることができました。



研修会の様子



南種子町

心ふれあうまちづくり みなみたね

宿泊体験学習
みなみたねっ子ふるさと学寮

南種子町では、様々な体験活動による青少年の健全育成やリーダー育成を目的に、「ふるさと学寮」を行って

本年度は、七月一日から三泊四日間、年齢の異なる様々な地域から小学生十三人、中学生三人の子どもたちが「南種子町自然の家」に集い、共同生活を行いました。

【学習活動】

「家族への感謝を手紙に綴ろう」「英語について学ぼう」等、講師の先生による趣向を凝らした内容で、集中しながら、毎日みんな楽しく学習活動を行いました。



ペーパークラフトの様子

【体験活動】

「ペーパークラフト製作」や「ニュースポーツ体験」、「五右衛門風呂焚き」など、普段なかなか体験できないことにチャレンジしました。

特に、薪で焚く五右衛門風呂は、初めての子どもたちが多く、時間がかかりましたが、入浴時は苦労した甲斐もあり、とても気持ちの良い経験でした。

また、地域の青年団や公民館婦人部の協力で炊飯活動等もスムーズに行うことができました。

楽しい夕食タイム



入寮した頃は、緊張していた子どもたちも、時間とともに仲間と打ち解け合い、最後の退寮式では別れを惜しみ、涙を流す子どももいました。

みんな揃って記念撮影



今回参加した子どもたちは、素晴らしい体験活動と貴重な経験ができたのでしようか。

元気で楽しく活動に参加して
南種子町高齢者学級

生涯学習における高齢者の活動について紹介します。

元気に楽しく生きがいづくりのためには町では八地区の高齢者学級で年間を通した活動をしています。①高齢者と語る会 ②人権教室 ③趣味を主とした講座 ④学習を主とした講座 ⑤各学校の行事に積極的に参加するなどの取組を行っています。

本年度は、陶芸教室や栄養教室、史跡めぐりなども実施しました。参加者から「日頃の思いを語る場になった」、「男性がエプロン姿に変身し、バランスのとれた手作り料理をみんなで食事ができたのが楽しかった」との感想をいただきました。これらの活動は、地域の主体的な活動計画に沿い、意欲をもつて参加できていると思います。毎年、活動の反省（成果と課題）を行い、次年度へとつなげていきます。



高齢者陶芸教室の様子

図書館の創意工夫
南種子町立図書館

南種子町立図書館は、現在の町立中央公民館に移転オープンして約三年が経ちました。利用者数も徐々に増加しており、たくさんの方に利用していただいていることを嬉しく思っています。

当館では、小さなお子様連れの利用者が多いことから、絵本コーナーに育児関連本を集めた「がんばれ！子育て！パパ・ママ応援コーナー」を併設しています。一般書棚から、妊娠・出産時に読んでおきたい本や名付けの参考になる本、出産後の育児に関する本などを抜粋して配置しており、お子さんが絵本を選んでいる間もそばを離れることなくゆつくりと本を選ぶことができますようにしています。

また、「パパ・ママ応援コーナー」のすぐ隣の絵本棚下段には、赤ちゃん向けの絵本や人気のシリーズ、当館のブックスタート事業で勧められている絵本を配置しています。「自分で本を選ぶ楽しさ」を実感してもらえよう、お子さんの手に取りやすい位置に並べました。

これも町民の皆さんが気持ちよく利用できる図書館づくりに努めます。



赤ちゃん向け絵本と
パパ・ママ応援コーナー

屋久島町

さわやかあいさつのまち屋久島町

毎月一日(ついで)は
さわやかあいさつの日!

「学校応援団」 拡充中!

本町では、平成二十四年度に青少年育成町民会議において「さわやかあいさつ日本一」をめざす取組を決定しました。同年九月に推進委員会を設置し、家庭・学校・地域・行政等、町民総ぐるみでの三年間の運動を展開してきましたが、昨年度をもって終了しました。本運動を通して、「家庭や地域の中であいさつをする姿が増えてきた」との声が聞かれるようになってまいりました。



あいさつ立哨風景

このような成果を踏まえ、今年度も「さわやかあいさつ運動」として、「毎月一日(ついで)」は、さわやかあいさつの日」をスローガンに、町民総ぐるみで取り組んでいくことになりました。取組の内容は、毎月一日のあいさつ立哨(のぼり旗使用)、子ども会と連携した「あいさつ看板」の製作及び県道等への設置、募集したあいさつ標語・ポスターを使用した啓発等です。今後も、町民、来島者を問わず、さわやかあいさつであふれる屋久島をめざします。

屋久島町での学校応援団事業も、今年度で六年目となり、いくつかの改善を試みました。その一部を紹介します。

一 提出文書の簡素化

昨年度までは、一つの支援に対して学校と行政の間で四通りの文書で実施計画や報告等を行っていました。重複する部分も多いことから、今年度から様式を簡素化し、二通りの文書で対応しています。その結果、提出率の高まり、提出までの期間の短縮等につながりました。

二 P T A活動との明確化

本町では、年二回の実行委員会、年一回のコーディネーター研修会を実施しています。その中で、県配布のDVDを活用し、本事業の主旨(地域で子どもを育てる)や、子ども、学校、地域へのメリット等、学校応援団事業とP T A活動を明確化する研修を取り入れました。

その結果、



釣り針の外し方:一湊小

従来よりも、活動内容の広がりや回数が増加がみられるようになってきました。今後は、学習支援や学校行事への協力だけでなく、部活動支援、安全確保、環境整備、各種研修の講師等、さらに本事業を拡充していきたいと考えています。

ウェルカムボードの製作
国民文化祭に向けて

第三十回国民文化祭・かごしま2015において、本町では「全国木工芸の祭典イン屋久島」を開催しました。全国から人間国宝を含む多数の作品や屋久杉工芸品の展示を行い、町内外から多くの方にお越しいただき、盛況のうち幕を閉じました。

今回の国民文化祭に向けて、子ども会で取り組む「さわやかあいさつ」看板とは別に、二単位子ども会

が「おもてなし」の思いを込めたウェルカムボードを製作し、安房体育館周辺に設置しました。ボードを見入る方、記念写真を撮る方



湯泊子ども会



麦生子ども会

も多く見られ、町民すべてが屋久島来島者を歓迎する思いが伝わったのではないかと思います。

笑顔の花がたくさん咲きました
屋久島町人権教育研修会

平成二十七年八月二十日(木)、屋久島町総合センターにおいて、屋久島町人権教育研修会を開催しました。本年度は、講師に鹿児島県立指宿養護学校教諭の海江田宏先生をお招きし、「地域における人権教育を通じたコミ



あそびうたを紹介する
海江田先生

ユニティーづくり」の講演をしていただきました。あそびうたを交えながらの楽しいお話に、終始、会場の二百三十人を越える皆さんの笑顔がいつぱいでした。

お互いのよさや違いを認め合いながら、人と人のつながりを大切にすることで、より住みよいユニティーづくりが図れるという学べたのではないかと思います。



あそびうたに合わせて笑顔いっぱい体を動かす参加者の皆さん